

焼き板づくり

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要及びねらい

杉板を焚き火で焼き、ワイヤーブラシで磨いて、絵付けをして作品にします。花山での体験をより深め、心に強く焼き付けることができます。

2 時期・時間

通年・2～3時間

3 活動場所

営火場、炊事場、ピロティ等

4 準備

自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
火ばさみ、ワイヤーブラシ、ペンチ、キリ、糸のこ	活動に適した服装、マッチ、軍手、布きれ 焼き板セット（板材・くさり・カラーマーカー（絵の具）・ヒートン・薪）→売店で販売

5 実施例

- ① 健康状態を確認し、服装を点検します。
- ② 用具を準備します。
- ③ 構想します。
→板材にデッサンします。糸のこで形を作ってもよいです。
- ④ 薪に火をつけて、焼く準備をします。
- ⑤ 焼きます。
→表裏を平均して焼きます（濃淡を作っても面白いです）。



- ⑥ ワイヤブラシがけ
→木目を生かしながら完全にすずをとります。



- ⑦ 磨く→木目に沿って丁寧に磨きます。
→光沢が出るまで布で磨きます。



- ⑧ 絵付け
→カラーマーカーで絵や文字を書きます。



- ⑨ 取り付け
→乾燥したらヒートンを取り付けます。
→取り付け口が割れないように注意しましょう。



- ⑩ 完成
→くさりを取り付け仕上げます。



- ⑪ 用具の後片づけと清掃
→火気の始末、清掃、用具の点検と返納を確実に願います。

6 留意点

- ・年間を通して活動できますが、4～11月が最も適しています。
- ・活動に使った道具については、責任を持って返してください。
- ・板材、くさり、ヒートン、カラーテックス、薪は売店で販売しています。セットの場合、カラーマーカーは一人あたり2分の1本、8人グループで4本（白2本、黄2本）になります。他の色もありますので、売店にご相談ください。
- ・風向きに注意して、やけどや火の取り扱いには、十分に注意してください。
- ・特にすすの清掃は念入りに行ってください。